

8月度(例会)個人山行報告書		報告者	山田(真)	参加メンバー	CL: 山田真理子 SL: 山田明
		報告日	8/23		
山域	東北日本海側	山行日	2010年8月10日(火)		
山名	鳥海山				

山行目的	リハビリ登山(運動不足解消)	コースタイム(天候: 天気図記号)	
------	----------------	-------------------	--

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局

ルート図(地図を見て正確に)

鳥海山  
新山(2,236m)  
大物忌神社  
伏拝岳  
蘆坂  
雪渓  
河原宿  
滝ノ小屋  
登山口(1,200m)  
鳥海高原家族旅行村へ

1/2.5万地形図: 鳥海山、湯ノ台

8/10 晴れ時々曇り  
05:30 鳥海高原家族旅行村発  
06:00 駐車場  
06:15 湯ノ台登山口  
06:30 滝ノ小屋  
07:25 一本  
07:45~55 河原宿  
08:20 一本  
08:40 一本  
09:40 一本  
10:30~40 伏拝岳  
11:00 大物忌神社  
11:35 新山頂上  
12:15 大物忌神社発  
13:00 伏拝岳  
13:20 一本  
14:00 一本  
15:00 一本

15:50~16:15 河原宿  
17:15~25 滝ノ小屋  
17:40 駐車場着  
18:10 鳥海高原家族旅行村着(宿泊)

山行報告 諸都合により夏山合宿に参加できなかったため仙台松島観光を計画した所、「東北へ行くなら鳥海山に登りたい!!」という明さんの希望で、太平洋 日本海側までBMWを走らせることになった。山形自動車道から見た鳥海山は、2千メートル級の山とは思えないほど大きく、さすが出羽富士! 存在感があった。鳥海高原家族旅行村にてケビン泊をし、初めて「フヨ」なるものに刺されてしばらく変な痛みが取れなかった。鳥海山に登りたいと言っていた張本人は、移動の疲れと暑さで不調気味だったが、次の日は大矢さんの予報通り、東北日本海側は台風の影響もなく快晴だったので、様子を見ながら登ることにした。登り始めて早速、八丁坂にさしかかる。標高をかせぐと、日本海と庄内平野の景色が広がって素晴らしい! これから登る鳥海山を見上げると、所々に雪渓が残っていた。次第に日差しがきつくなり気温も上がってきたせいか、相方の様子がおかしい。暑さでグッタリして動けない。ここで登頂断念も考えたが、本人はもう少し登ると言っている。休憩をマメに取り様子を見た。雪渓付近の沢でタオルを冷やし、首に巻くとかなり回復したようだ。標高が上がるにつれ気温が下がってきたので元気になり、急登の蘆坂も登りきった。稜線に出てみると、お鉢のようになっており、山頂付近は正面に見えるものの先は遠い。計画していた七高山から新山へ目指すルートはガスって時間もかかるため、近道のトラバースを取るが、今にも崩れ落ちそうな岩が頭上にありヒヤヒヤしながら歩いた。大物忌神社に着く

と、新山頂上へは岩山をよじ登るとのこと。なかなか大変な山だ。山頂からはガスで何も見えなかったが、はるばる山形まで登頂できたことに感謝感激。下りは順調かと思いきや、今度は真昼の日差しにやられて、気分が悪いと言いだした。顔色も悪い。急いで沢まで下り、ペットボトルに水を入れて三ヶ所から首を冷やし、タオルで頭も冷やしてしばらく横になっているとかなり効果があった。休憩をマメに取りながら下山した。

リーダー所見 相方は、会社の試験準備で3ヵ月ほど山登りにも行けず、運動もせず、クーラーの効いた部屋にこもっていたため、暑さに慣れていなかったようだ。熱中症気味になり、どうなることかと心配したが、沢の水で助かった。リハビリ登山にはスケールの大きい山だった・・が、雪渓やお花畑、日本海や庄内平野の景色など、東北ならではの山登りを堪能することができた。今年は猛暑。炎天下の山登りは熱中症にご用心。

《フリースペース》

鳥海山 新山頂上にて

確認(リーダー)  
山  
10/08/23  
田

作成(報告者)  
山  
10/08/23  
田